

視野を広げて書こう 評価表

学習日 月 日

「脚本」を読み合って、お互いに評価しよう。(グループで)

評価の観点

ア	登場人物それぞれの視点から書かれているか。
イ	せりふやト書き、ナレーションなどの目的に応じた言葉づかひや表現で書かれているか。
ウ	脚本を読む人に伝えたいことが明確に伝わるよう、構成や表現の工夫をしているか。
エ	もとの作品の設定や文体を生かして書くことができているか。

1 グループで評価をしよう。

氏名	評価の観点 (できている観点到)				「脚本」のよいところ 例：もとの作品の設定を変えずに、登場人物の心情が伝わるよう書いている。	アドバイス 例：せりふは話し言葉で書いた方がよい。 もう少しがんばりたいところ
	ア	イ	ウ	エ		
自分						
評価した人						
評価した人						
評価した人						
評価した人						

2 友達の脚本を読んで、自分の脚本に生かしたいと思ったところをまごめよう。

3 自分の脚本の修正点を具体的に書こう。

--